

ふれあい フェスティバル

大雪の中、出初式



1月8日、平成31年妹背牛消防出初式が行われました。消防庁舎前では、整列した消防職団員を前に田中町長が年頭の言葉を述べ観閲を行いました。続いて、降りしきる雪のなか、北いぶき農協妹背牛支所前の道道を一糸乱れず堂々とした動きで分列行進。

その後、消防庁舎2階で表彰式が行われ、永年勤続団員・優良団員などが表彰されました。

レッツ パッククッキング

1月17日、生きがい講座の料理グループの活動が行われました。今回作ったのはカレーうどんやツナオムレツなど全5品。昨年妹背牛町でもブラックアウトの被害があった平成30年北海道胆振東部地震にちなみ、電気やガスを使えない状況でもできるパッククッキングというポリ袋を使った調理方法を用いて作られました。参加者の皆さんは「ガスを使わなくてもこんなにしっかりできるんだね」と驚きながら料理を行っていました。



新年恒例、大抽選会。

妹背牛商工会サービスポイントカード会主催の「現金つかみ取り大抽選会」が、初売りの1月2日に妹背牛商工会館で開催されました。これは、町内で買い物をするポイントが貯まるモスピーカード満点で、500円の商品券と1回のガラポン抽選ができるもの。特賞には、千円札のつかみ取り5本が用意され、朝から買い物帰りの町民が次々と訪れました。特賞の「千円札のつかみ取り」を始めその他にも、硬貨のつかみ取りや、卵があたるサイコロゲームなどが行われ、新春のスタートを賑やかに飾りました。



勾玉作りに挑戦

1月16日、町公民館で教育委員会主催の子ども朝活事業が行われ、小学生8名が「勾玉づくり」に挑戦しました。勾玉（まがたま）は、古代の日本における装身具の一つで祭事に用いられたもの。小さな石を5種類のやすりで磨きあげるため、児童たちは力が入るよう立ち上がった体全体を動かしながら真剣な表情で磨き上げてゆきます。

やがて、一人ひとりの個性に満ちたピカピカの勾玉が出来上がり、児童たちは丹精こめて手作りしたアクセサリにご満悦の様子でした。



カーリング世界の舞台へ

1月にフィンランドで開催の世界ジュニアBカーリング選手権2019に、本町出身の清水野梨希さん（19）が「チームかまだ」のメンバーとして出場することになり、12月29日には町カーリングホールで最終調整に臨みました。

この大会には、世界各地から25カ国が出場。1月3日には、中国のチームとの対戦をかわきりに、日頃鍛えた技を発揮して競いましたが、残念ながら予選で敗退となってしまいました。清水野さんは小学校5年生からカーリングを始め、昨年同選手権に出場しており、今回の経験をバネに、さらに大舞台での活躍が期待されています。



最終調整に臨む清水野さん（中央）

1歳になりました

山下 結登 くん



平成30年1月17日生まれ

パパが大好きで、帰ってくる
と嬉しそうに迎えに行きます。

パパとママ
山下 哲 さん
恵理 さん

真冬の夜空を飾るイルミネーション

この冬も1区10町内の夏井坂組前の白樺の大木にイルミネーションが灯り、まちの夜空を美しく飾っています。これは平成18年に商工会青年部と農協青年部の合同事業として始められ、現在は町内の有志による「イルミ会」が継続運営引き継いでいるもの。同会の呼びかけ人である高橋浩一さん、夏井坂聡さんらが、高所作業車で新たに4000球のLEDを取り付けました。深い雪に覆われ、厳寒のこの時期ですが、「白樺大木のあるの灯りを見ると心が暖まる」と毎年心待ちにしている町民も多いようです。



ドローンによる上空からの映像
夏井坂聡さん提供

